

広報紙

ふれあい吉田

第96号

令和7年9月1日

発行

水戸市吉田地区自治実践会

編集

広報部会

吉田市民センター内

TEL029-247-2316

高齢者クラブ 吉田元気サロン

「リーチ」「ロン」、元気な声がホールに響き、高齢者クラブの皆さんは、麻雀やトランプ「ドカーン」、eスポーツ「太鼓の達人」を楽しみ、おおいに盛り上がっていました。



元気いっぱい!! 吉田の女性と 高齢者

第1回 女性セミナー

「ストレート」「フック」「アッパー」「キック」、講師の赤尾杉武士先生の声に合わせて、思いっきりパンチやキックを繰り返します。第1回の女性セミナー「キックボクシングエクササイズ」で日頃のストレスを思いっきり解消して、心も体もリフレッシュしました。



生涯学習部会 移動学習

7/16(水)

大雨の予報の中、山方の舟納豆工場に到着。納豆の製造工場等をビデオ鑑賞。説明後、手作業の様子を窓越しに見学。一晩発酵させる時はモーツァルトを流している。ナットウキナーゼは血栓を溶かす効果があり、夕食に納豆を食べるのが良い。鵜の岬にて昼食。大宴会場で満足そうでした。

高萩市歴史民俗資料館では江戸時代の地理学者「長久保赤水」について丁寧な説明を聞き熱心に質問をしていました。心配された傘の出番もなく無事終了できました。



最優秀賞 新一里塚町内会



生活環境部会 花壇コンクール

今年度も花いっぱい運動、美しい環境づくり運動の一環として、5月はベコニア・ジニア、6月はアゲラタム・マリーゴールドの花苗が配布されました。ベコニア赤の生育不良のために、2割が千日紅に変更になりました。

各種団体の皆様には、6月からの真夏のような気候の中、花壇に苗を植え

育てて頂き、感謝申し上げます。コンクールには、吉田地区から9団体が参加しました。

結果は、新一里塚町内会が昨年に引き続き最優秀賞、吉田梅寿会は優秀賞になりました。

優秀賞 吉田梅寿会



吉田地区女性会

水戸黄門まつり 水戸市民カーニバル

8/2(土)



吉田地区女性会メンバー5名が、水戸市地域女性団体連絡会(水戸市女性会)チーム38名の員として参加しました。
当日は、白地に水色の藤の花模様の浴衣、赤い帯に編笠という、伝統的で女性らしい優美な衣装で、気温30度を超える猛暑にも負けず2時間踊り切りしました。

「ハンドサイン」とは?

通行する車の運転者に対し、アイコンタクトとあわせて、手をあげる、降る、かざすなど、横断の意思を示すシエスチャーの事です。



福祉厚生部会では、「ハンドサイン運動」を推進するため、ヨークハマル元吉田店前で、チラシと啓発品を配布しました。
横断歩道で、歩行者が手を上げた(ハンドサイン有り)場合、約9割の車が停止してくれたという調査結果が出ています。



福祉厚生部会 夏の交通安全街頭キャンペーン

7/24(木)

吉田っ子だより 夏の活動紹介

住吉上子ども会 「ボーリング大会」 7/6



住吉上子ども会ではボーリング大会を開催しました。みんなでワイワイと楽しい時間を過ごすことができました。

古宿子ども会 ふれあい会「七夕まつり」 7/6



古宿長寿会の方々とふれあい会を行いました。七夕飾りを作ったり、手話をしながら歌ったりと、多世代交流の場になりました。



花火も楽しみ!



おみこし わっしょい!



納涼の夕べ 同心町 「子安地藏まつり」 7/19



「わっしょい」「わっしょい」暑さを吹き飛ばす子ども達のかけ声。お母さん方・役員の方もたくさん元気もらいました。町内会をしっかり引き継いでもらえると感じました。

吉田小学校 2学期制へ

今年度から水戸市立小中学校では、今までの3学期制から2学期制になりました。

10月10日が前期終業式、休日を挟み、10月14日が後期始業式となります。

2学期制のメリットとして、夏季休業日前に時間のゆとりが生まれ、休業日直前まで行事等を実施しやすく、また、学習や生活についての事前指導や教育相談等の充実などもあります。



夏休み前最終日 オンライン集会



令和7年度 県民総合体育大会

善戦健闘!

四中生の熱い夏

令和7年度県民総合体育大会が開催され、各競技で熱戦が繰り広げられました。

見事関東大会出場を果たした部活動の選手の皆さん、おめでとうございます。
惜しくも出場を逃したものの、最後までやりきった皆さん、本当にお疲れ様でした。

サッカー部



剣道部



レスリング部



ソフトボール部



ソフトテニス部



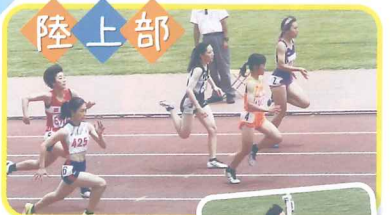
卓球部



柔道部



陸上部



水泳部



体操競技部



編集後記

猛暑の中でも吉田のみなさん元気に活動されています。厳しい残暑も暑さ対策を継続して
声かけあって乗り越えていきましょう。(鈴木 記)